



恵久美 竹内 峯男

もつたいない

随想

今年には戦後60年の節目の年という... 戦後の何も無い貧しい生活のなかで衣は、継ぎはぎの古着を着て草履ばき、食は、芋やかんころ、麦飯と煮干ぐらいのものだった。親はひもじい思いをしても子どもにだけは腹一杯食べさせてやろうとおいこ(しょいこ)を背負って買い出しに行く姿を子どものころにみえた。1年のうちで米のご飯が食べられたのは正月やお盆などの特別な日と数えるほどしかなかった。その日がくるのを楽

しみにしていた。今は欲しい物がすぐ手に入るからありがたみを感じる事が少なくなつた。科学技術の進歩のおかげで風呂の水くみ、風呂焚、井戸端での洗濯が水道、ガス、洗濯機にかわり、さらにいたる所で整備された道路を自動車が行く。便利な世の中になつた。60年前には考えられないことだった。物のないころにはご飯を食べ残したり、まだ使えるのに壊れたからと修理もせず捨ててしまうことは「もつたいない」としかられた。

弁当箱の一粒の米も粗末にするなど賤(うぢ)られた。世の中すべてが豊かになり消費が美德とされる社会の中にあつて食べ物を残したり捨てたりするのを何とも思わない風潮がありはしないか、と憂慮する。退職して妻とスーパーへ買い物に出かける機会が多くなつて気がつくこと。魚も輸入品が多くなつてくる。全国どこでも同じような食材が山のように陳列されていると想像ができる。これらの人びとが消費していくのと思うとぞつとする。物によ

つては割引価格がつく。見切り品の物があるとすればもつたいない。生きていくためには水や食料はかせない。最近の異常気象による干ばつや世界の人口増で将来の食糧の供給が心配である。飽食の中で心も豊かになつたかといえそうでもない事件が毎日のように記事になつている。物心ともに豊かな社会でありたい。「もつたいない」の精神を飽食の時代だからこそいま一度考えてみる必要があるのではないか。

1歳ですよろしく



笑顔最高! えくぼ最高! すずちゃん最高!!

佐藤鈴夏ちゃん (筒井) 平成16年10月21日 父 久志さん 母 佳代さん



すくすくと元気いっぱい育つてね。

渡部大蔵くん (永田) 平成16年10月31日 父 真一さん 母 はつえさん



元気いっぱいの和希♡これからよろしくね♪

中田和希くん (筒井) 平成16年10月15日 父 幸治さん 母 愛さん



元気で優しい子になってね。

遠富羽琉ちゃん (筒井) 平成16年10月23日 父 圭二さん 母 由香さん



いつもやんちゃで手がかかるけど、元気に育ってます!

田中歩くん (社宅) 平成16年10月13日 父 剛さん 母 廣子さん

10月に1歳になられるお子さんの写真を募集しています。背景が明るい写真をお持ちのうえ、10月3日(月)~11日(火)の執務時間中に役場3階総務課秘書広報係へ(先着6名まで)。